

風の会 通信11号

http://www.g-kaze.com

事務局：〒534-0024 大阪市都島区東野田町2丁目8-2 久豊二番館 株式会社ヒット内5階
TEL:06-6356-8786 FAX:06-6356-0904 e-mail:info@g-kaze.com

みんなが主役!
風の会
ゴールデンエイジネットワーク

絵：国米和子さん
豊崎崎でキャプリー-100歳



田頭経営研究所 田頭規夫
リレーエッセイ
八十にして齢を数えず

時々人生を振り返る年齢になった。早々とゴルフ倶楽部から傘寿記念のベストが贈られてきたので、この年までよく生きてきたものだ、感謝の毎日である。まず、このような健康体を作ってくれた亡き両親や祖母に毎朝感謝の気持ちをささげている。

実は、十五歳のころ、虚勢体質で医者には十七歳までしか生かれないと宣言されていたが、自分でもそうかと思うほど元気が出ない毎日が続いていた私を、両親・祖母が一生懸命育ててくれた。ただ甘やかすだけでなく、運動も無理のない程度にし、こかれ、有名な病院や医師には、足しげく連れて行かれた。学校へ行くより医者通いが忙しく、1年間休学する羽目になってしまった。やっとなり体力もつきかけたころ、私の体質改善を完全なものにしたのは、バレーボールとの奇しき縁であった。

ボールゲームが好きな私は、死んで元々と好きなバレーボールに運命を託すことになる。これが成功して身長が一年に十五



田頭さんブロンズ
田頭経営研究所所長
コンサルタントとして、高齢化社会のこれからについて、ユニークな提言をされています。著書に『様変わりする21世紀展望』、『ビジネス回想』、『プロ野球とビジネス』があります。

友遊会からのお知らせ
7月17日(水)午後6時30分より
今月は昇医師のモンゴル反逆の飯の報告会、どんなエピソードが飛び出すか楽しみです。
交流会助産
ふくろうの会は7年前に誕生した、心優しい人たちの集り。色々なイベントを企画し楽しい会に発展してきました。さる六月二十二日芥川賞受賞作家の玄侑宗久さんを講師に招き、講演会を開催。会内外の人達に大きな感動を与えました。講演会の後、玄侑宗久さんを囲むためのひと時はふくろうの会らしい心配りで、大いに盛り上がり楽しませて頂きました。(河本)

- 「アイころ心理学研究所」所長
カウンスラー 堤部武昭さんの
心理学教室開催のご案内
1. テーマ「明るく楽しく生きるための心理学教室」
 2. 会場 文化創造倶楽部
(谷町九丁目交差点西側を南へ徒歩1分)
 3. 日時 第1回 8月19日(月)・第2回 9月9日(月)
第3回 10月21日(月)・第4回 11月18日(月)
第5回 12月16日(月)・第6回 1月20日(月)
※いずれも午後6時30分から午後8時30分まで
 4. 参加費 1回 千円
 5. 申込先 小野元裕 携帯電話
090-5061-9188
 6. 備考 終了後、懇親会をする予定です。

お知らせ
菅野芳巳さんが男女作『大地と白い杖』に続き『紅衣少女』12冊分の1の出会いを新風書局から出版。
全書が著者が克復してきた苦難の足跡を記録したドキュメントです。1500円。日本ライオンハウス創立80周年記念図書に選ばれ、西日本で初めてのバリアフリー同時出版(スタンダード版・大活字版・盲訳によるカセットテープ版・パソコン対応CD版(ニライジイ・点字版))が実現しました。(紹介・書本弘さん)

編集後記
不老長寿は人類の夢ですが、日本は歴史上かつてないほどその夢に近づいています。聖の始皇帝は、徐福に不老長寿の薬を探す為に、惜しげもなく金と人材を与えたというのはよく知られた話です。
それほど長寿は憧れの的だったのに、その達成に一番近い日本の高齢者の元気のなさは、いざさか気になるところです。
マスクミの伝える元気がない高齢者には、何となく違和感を感じていたのですが、今回風の会の周りにいる、これから青春という人に元気の秘訣を披露して頂きました。
物の豊かさより心の豊かさに、業心を置き、前向きに今をどう生きるかというヒントを得た様な気がします。
我々一人一人が自立した生活者として、政府にあまり依存しない生き方が試されている様です。
風の会代表 河本雪夫



風の会
ゴールデンエイジネットワーク

事務局：河本 雪夫
〒534-0024
大阪市都島区東野田町2丁目8-2
久豊二番館 株式会社ヒット内5階
<http://www.g-kaze.com>
e-mail:info@g-kaze.com
Tel:06-6356-8786
Fax:06-6356-0904